

平成 27 年度与板地域委員会第 1 分科会中間報告書

テーマの決定

7月8日開催の第1回合同分科会において、協議項目を議論いただき、事前に提出された31の提案の中から、3項目に絞り込みを行った。また、分科会方式により議論を進めることを決定した。

第1分科会では、「観光・地域おこし、産業」、第2分科会では、「安心・安全」を今後議論していく際のテーマとした。

○これまでの協議内容

第1回 H27.8.6 (木)

第1回合同分科会で取り決めた「協議項目」と合わせ、事業化されていない「地域の宝」の2項目の具体案について、協議した。

○地域の宝の磨き上げ

開府400年の節目に向けた与板の町並みのPR

古地図の利用

○協議項目

若者会議、孟宗竹のチップ化、木工女子

第2回 H27.8.24 (月)

「観光・地域おこし」では、与板の特徴であるコンパクトな町並みを街めぐりに組み込むための具体的な事業化案や、天地人通りの活用について協議した。また、地域に対する理解を更に深めるため、古地図を見ながら議論を進めることとなった。

○城下町与板の街並み

古地図の活用、街並み＝道路でなく、住む人の営みを知る

資料館の活用、ジオラマ、展示替え

鍛冶屋の工場見学

イベントと町めぐりを一緒に

○兼続とお船の里

城山の活用、維持管理が活かされていない

小学校の兼続とお船の劇

第3回 H27.9.8 (火)

古地図を見ながら議論することで、地域に対する理解を更に深め、街めぐりでの古地図の活用方法など具体案を協議した。また、事業化の幅を広げるため、城下町の人の営みに着目することについて議論した。

○城下町与板の街並み

与板の歩いて回れる強みと残っている城下町の活用

古地図をデジタル化し、資料館から町めぐりを始める

開府400年に合わせた事業展開を考える

○兼続とお船の里

「良寛」は全国的に知られている。方向を変えて「良寛」はどうか
城下町の道だけでなく、人の営みを結び付けると「良寛」につながる
「良寛」の人間らしい部分を掘り下げ、地域外からの人を呼び込む

第4回 H27.10.6 (火)

古地図のデジタル化と、それを利用した事業案について議論した

○地域の宝磨き上げ

ワークショップを立ち上げ、様々な年代層から提案してもらう
まちめぐりで歴史を学ぶ際に、デジタル化した古地図や資料を利用する
大河ドラマ（真田丸、直虎）と関連した今しか出来ない企画を考える
（資料館の展示替え（孔雀の陣羽織）、講演会など）
人間味のある良寛の話を使い、地域外から人を呼び込む
豪商の文化としての屋台を支援

第5回 H27.11.25 (水)

「地域の宝磨き上げ事業」について事業化する内容を決定し、中間報告に向けて、
これまで検討した内容の整理と今後の協議内容について議論した。

また、平成27年度ふるさと創生基金事業の進捗確認と平成28年度事業提案につ
いて情報共有を図った。

○平成28年度地域の宝磨き上げ事業（案）

- ・ 楽山苑ライトアップ拡充事業（楽山苑ライトアップ運営委員会）
- ・ 楽山苑活用事業（与板町観光協会）
- ・ ボランティアガイド養成事業（与板町歴史ボランティアガイド会）
- ・ 豪商の文化「聞香」体験事業（優香の会）

合同分科会（第2回） H28.1.15（金）

これまで各分科会で協議した内容について、進捗状況の報告と意見交換により、相
互理解を深め、情報共有を行った。

◎今後の進め方について

楽山苑以外の「地域の宝磨き上げ事業」の検討を含め、「観光・地域おこし」に関連す
る提案内容を整理し、更に若者が参画できる方策と具体的な事業化について検討する。

また、「産業」をテーマとして、与板の伝統工芸「打刃物」の技術継承を後押しで
きる地域の活性化や、まちづくりの提案内容について検討を進める。

平成27年度与板地域委員会第2分科会中間報告書

テーマの決定

7月8日開催の第1回合同分科会において、協議項目を議論いただき、事前に提出された31の提案の中から、3項目に絞り込みを行った。また、分科会方式により議論を進めることを決定した。

第1分科会では、「観光・地域おこし、産業」、第2分科会では、「安心・安全」を今後議論していく際のテーマとした。

○これまでの協議内容

第1回 H27.8.6 (水)

議論の方向性として、大項目で「安心・安全」、中項目で「住んで良かったと思える地域づくり」をテーマとし、現状を把握したうえで、「5年後、10年後の与板のあるべき姿」について協議することとした。

○主な検討事項

- ・コミュニティバス
- ・防犯灯
- ・就職先の確保
- ・幼稚園の活用
- ・SP隊の活動
- ・配食サービスで高齢者の見守り
- ・地域のつながりによる子どもの見守り

第2回 H27.9.10 (木)

与板地域のコミュニティ事業や福祉事業の概要や人口統計などの資料により、高齢者対策の重要性、ボランティアに頼らない仕組みづくりの必要性などの現状を把握した。

そのうえで、10年後のための提案について「高齢化対策」「子育て対策」「現役世代の対策」の3項目で具体案を協議することとした。

○主な検討事項

- ・配食サービスの継続
- ・ボランティア講座の事業化
- ・超高齢化時代への対応
- ・ボランティアに頼らない仕組み
- ・医療費のかからない暮らし方

第3回 H27.10.8 (木)

3項目の中から「高齢化対策」で具体策を持ち寄り、議論を深めた。

○主な検討事項

- ・老人クラブ
- ・高齢化による一人暮らしや空家の増加
- ・空家対策
- ・交流の場としての空き家利用
- ・配食サービス
- ・ボランティア銀行
- ・高齢者に就労の場
- ・世代間交流による刺激と張り合いを与える
- ・高齢者の足の確保（コミュニティバス、デマンドタクシーの必要性）

第4回 H27.11.30 (月)

中間報告に向けて、「安心・安全」をテーマとした「10年後の与板のあるべき姿」を提案するため、これまで議論した「高齢化対策」の内容について振り返り、まとめ方を協議した。

また、「子育て対策」について、各委員の意見を聴取し、今後議論するうえでの認識の確認を行った。

平成27年度ふるさと創生基金事業の進捗確認と28年度事業提案について情報共有を図った。

○主な検討事項

- ・高齢者が子育てに参加できる仕組み作り（知識と経験の活用）
- ・子育て支援制度を与板版で周知
- ・与板の魅力や住んでもらうための情報発信

第2回合同分科会 H28.1.15 (金)

これまで各分科会で協議した内容について、進捗状況の報告と意見交換により、相互理解を深め、情報共有を行った。

◎今後の進め方について

「安心・安全」のテーマに沿って、「10年後の与板のあるべき姿」としての「高齢化対策」について、事業化に向けて具体案をまとめる。

また、新たに「子育て対策」や「現役世代の対策」について、提案内容を協議する。